

<教育学部の紹介>

教育学部というと、小学校や中学校の教員を養成するための学部という印象を持つ人が多いかもしれませんが、実はこの学部は教員の養成が直接の目的ではありません。学校や職場などのあらゆる場面で教育は関わっており、そういった教育そのもののメカニズムや、その在り方を学び研究するのが教育学部です。近年はゆとり教育による問題やいじめ問題、不登校、少年犯罪の低年齢化など、学校教育は多くの課題を抱えており、それらの解決策を研究することもあります。当然ながら、幼稚園や小学校・中学校・高校の教員免許を取得することも可能です。

主な就職先としては、やはり教育関連の業種が多くなっています。公務員を選択する人も少なくなく、必要な資格を取得したあとで、社会教育施設や市町村の教育関連機関で活躍する人もいます。

<シグマ講師による学部紹介 茨木校 仲先生>

1.所属学部・学科:教育学部 教育学科

2.専攻:教育学

3.専攻についての詳細:

みなさんは教育学部にどのようなイメージを持っていますか？

教育学部は、学部名どおり教員免許の取得、そして入学して4年後の教員採用試験に合格して、将来教員になりたいという人が集まる学部です。ただし教育学部に入ったからといって必ず教員を目指さなければならないかという、決してそんなことはありません。教育は学校以外にも企業や家庭などあらゆる場面で使われているものであり、教師になることよりも教育学に興味があって入学した人もいます。また、卒業後は教員以外の公務員として就職する人、一般の企業に就職する人もいます。もちろん、大学生活の途中で他に就職したい職種が見つかった場合は進路の変更も可能です。

では、次に教育学部ではどのような授業が受けられるか、私の1年生の前期の時間割を交えて紹介したいと思います。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限目	教育論	図画工作	情報	-	生活
2限目	体育	家庭科	-	体育	数学
3限目	-	-	-	理科	-
4限目	英語	数学	-	社会	-

時間割を見て少し驚く人も多いと思います。まるで小学校や中学校の時間割と似ていますよね。そうです、教育学部では今までにみなさんが小学校、中学校、高校と受けてきた授業を、反対に教える立場に立って、授業の準備、進め方、工夫する部分などを学んでいます。例えば、「小学校の授業の準備」という授業では、「生徒たちに興味を持たせるような授業」ということを

考えていきます。まだまだ集中力がついていない小学生の生徒たちを勉強に取り組ませるための工夫は色々ありますが、ここでは参加型の授業をとりあげます。皆さんの中にも、小学校でアブラナの花でおしべとめしべを見てみたり、リトマス紙の実験なんかをした覚えがある人もいるのではないのでしょうか。やはり実際にモノに触れたり、自分で手を動かしたりするということは、興味を持たせるときのポイントとなります。参加型の授業としては、そういった実験以外にも、グループで何かテーマの調査をさせるにはどう進めたらいいかということや、体育をきちんと取り組ませるためにはどうしたらいいかというようなことも学びます。

このように、教育学部は他の学部と比べ、少し特殊な学部ですが、教員に興味がある、もしくはなりたいという人にとっては最高の環境であると思います。大学の教授も学生が将来、教員になった時に役に立つ知識を交えて講義をしてくれます。周りの学生も自分と同じ様に教員を目指しています。共に同じ目標に向かって頑張る仲間がいるということは自分にとってはもちろん、相手にとってもプラスになる部分も多く、素晴らしいことだと思います。

すでに教員になりたい人はもちろんですが、まだあまり進路が決まってない人で、少しでも教育に興味のある人は是非、教育学部を志望してください。この学部紹介を見た皆様の少しでも参考になれば幸いです。

4.卒業後の進路

卒業生の多くは小学校、中学校、高校いずれかの教員になります。中でも小学校の教員募集の人数が多いからか、小学校の先生になる人が多いです。私の通っている大学ではだいたい8割ぐらいの人が教員になるようです。また、公務員になったり、民間企業に就職する人もいます。

5.取得可能な資格

卒業をすれば、小学校、中学校、高校の教員免許が取得できます。また、中学校・高校の教員免許は一般の大学でも必要な単位を取得すれば、取ることができます。小学校の教員免許を取るためには、基本的には教育学部を卒業する必要がありますが、現在は教育学部のある大学と提携を行うことで、小学校の教員免許を取れる大学もあるため、興味のある方は教室にお問い合わせください。